

土木学会 コンクリート委員会  
平成 24 年度 第 4 回規準関連小委員会 議事録(案)

1. 日 時：平成 24 年 12 月 12 日（水）13:00～17:00
2. 場 所：スクワール麹町 寿会議室
3. 出席者（敬称略）：  
鎌田委員長，上野幹事長，内田，小川，片平，加藤，川西，国枝，坂本，田中，辻本，中村，野村，日比野，平塚，堀越，皆川，森，山口，横尾，横関

以上 21 名

4. 配付資料

- 4-1 平成 24 年度 第 4 回規準関連小委員会 議事次第(案)
- 4-2 平成 24 年度 第 3 回規準関連小委員会 議事録(案)
- 4-3 (セメント・水・骨材・混和材料 WG) 各規準修正点
- 4-4-1 (同)土木学会規準 目次案
- 4-4-2 (同)関連規準 目次案
- 4-4-3 (同)JIS 規格集 目次案
- 4-5 (鋼材・補強材 WG)関連メモ
- 4-6 (同)「JSCE-E 545 連続繊維シートとコンクリートの接着試験方法」の修正について
- 4-7-1 (同)土木学会規準 目次案
- 4-7-2 (同)関連規準 目次案
- 4-7-3 (同)JIS 規格集 目次案
- 4-8 (フレッシュ WG) 土木学会規準，関連規準，JIS 規格集 目次案
- 4-9 (硬化コンクリート WG) 土木学会規準，関連規準，JIS 規格集 目次案
- 4-10 (製品・施工機械 WG)追補改正の取扱いについて
- 4-11-1 (同)土木学会規準 目次案
- 4-11-2 (同)関連規準 目次案
- 4-11-3 (同)JIS 規格集 目次案
- 4-12 (補修材料 WG)補修材料 WG 第 58 回議事録(案)
- 4-13 (同)引張強さ試験(JSCE-K 541)
- 4-14 (同) 土木学会規準，JIS 規格集 目次案
- 4-15 (電子化検討 WG)軽量化資料

5. 議事

(1) 鎌田委員長挨拶

- ・ 土木学会では，あと施工アンカー設計施工指針を現在作成している。
- ・ 規準編は予定通り次年度に発刊予定。2/15 の常任委員会に目次案を提案する予定。

(2) 平成 24 年度 第 3 回議事録(案)の確認

- ・ 特に問題なく，承認された

(3) 土木学会規準の改訂進捗状況

- ・ 各 WG より状況報告がなされ，目次案が提示された。主要な決定事項は以下の通り。

(フレッシュ WG)

- 「コンクリートライブラリ 93 高流動コンクリート指針」を引用しているものについては，新しい「コンクリートライブラリ 136 高流動コンクリート指針」へ変更する。
- JIS 規格で<省略>となっているものについて，国際規格対応の附属書は，目次案編集時に上野幹事長がまとめて目次から削除する。

(電子化検討 WG)

- (c)案 (OK プリンス上質紙使用：重量 38%減) で常任委員会に報告する。
- スケジュールについて，Word 版校正→PDF 化→印刷となるため，Word 版校正期間については，出版事業課に確認後，皆川委員より報告する。

(セメント・水・骨材・混和材量 WG)

- JIS K 5906 塗料用アルミニウム顔料を目次から削除する件については，横関委員が PC 関連を確認して問題なければ，WG 提案のとおり目次案から削除する。
- JSCE C 101,C503,C506,D503 については，(案)を削除する。
- JSCE C 504 について，不溶残留率については，式に用語がそのまま (記号化されずに) 入っているが，これはこのままとする。
- 数式は記号に置き換える (日本語で記述されているものは改める) ことを原則とするが，見直しをかける規準が多数に上る場合は，現状の表記のままであることを認める。今後作成する規準については，全て数式は記号で表記する。
- JSCE C 511 について，JIS 規格の追加なので(案)をつけておく。
- 附属書は改ページして，新しいページから始める。タイトルは本文と同じフォント (字体と大きさ) とする。

(鋼材・補強材 WG)

- JSCE E 102 について，誤記修正のため，(案)は削除する。
- JIS 番号に「(20xx 確認)」が記載されているものは，目次にも記載する。
- JSCE E 545 について，修正案通りとする。

(硬化コンクリート WG)

- 非破壊検査については，規準類が多々あるが，現在目次に入れている規準類だけとし，追加しないものとする。
- 硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法については，運用面での影響等も大きいことから，大幅改訂は容易ではない。そのため，今回は文言の修正にとどめる。
- JSCE G 573 附属書 1 について，委員会としては修正案通りとしたいが，本件はこれでよいか久田先生に確認すること。

- 上記 G573 の英文タイトルについて、「Test method for total chloride ion content in concrete」に修正する.

(製品・施工機械 WG)

- JIS 規格の安全要求事項は目次に入れないものとする.
- 追補は 4-4-3 資料を参考に、併記する。(追補だけで別番号にしないようにする.)

(補修材料 WG)

- K541 の引張試験片の厚さについては、材料学会へのヒアリングの結果、軟質形樹脂に対する試験片の厚さの制御が困難であることから、平面形状は JIS K 6251 に従うが、厚さは 1~3mm とする.

(共通)

- 図の解像度が低く判別困難なものの取り扱いについては、皆川委員が配信する 2010 年制定規準編の PDF から各自図表データを入手し、これを、今回の規準編ファイルにペースとして使用する。なお、配信 PDF でも解像度が低い場合や、修正が必要で、修正困難な図表は、新しく編集可能な図表データを作る必要がある。各 WG で新規のデータ化が必要な図表を選び、2010 年版のページ番号と図番号を上野幹事長に連絡する.

## 6. その他

- 2013 年版は 2013 年中 (すなわち、12 月まで) に発刊できるように取りかかる.
- 次回は土木学会規準について、WG としての完成版を持ち寄って、他の WG 分との相互チェックを行う.
- 各 WG は年内に目次案の最終版を上野幹事長まで提出する.
- 上野幹事長は、2013 年 1 月頭をめどに目次案の全体版と 2013 年版の改訂概要 (数ベース) の 1 ページ版を作成し、常任委員会用の資料とする.
- 次回小委員会は 2013 年 4 月 25 日(木)13:00~17:00 とする.

文責：平塚